

2025年

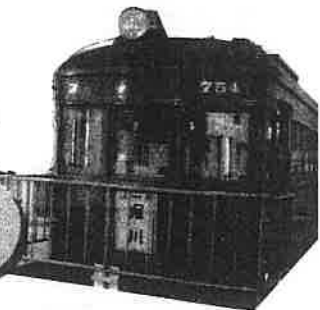
9月

瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum

瀬戸のやきものづくりの総合ミュージアム。
やきもののまち瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)

催物案内



企画展示室

国際芸術祭「あいち 2025」連携企画プログラム 瀬戸蔵ミュージアム企画展

「瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美」

瀬戸市は千年余のやきものの歴史と伝統を有する日本を代表する産地であり、いつの時代も日本のやきもの界をリードしてきました。豊富で多様な陶磁器原料が産出する自然の恵みを背景として、時代ごとの需要に応じ、飲食器から鉢や甕、行燈皿といった生活道具、各種衛生陶器、タイル、電磁器、ノベルティまで、多種多彩なやきものが生み出されてきました。

本展は国際芸術祭「あいち 2025」との連携企画プログラムとして、国内外からの来訪者に対し、瀬戸市が所蔵する平安時代から現代までの選りすぐりの作品を展示し、受け継がれてきた陶都千年の技と美を紹介します。



伝 加藤民吉(初代)

染付山水図大花瓶

瀬戸蔵ミュージアム蔵

9月6日(土)から2026年1月18日(日)まで

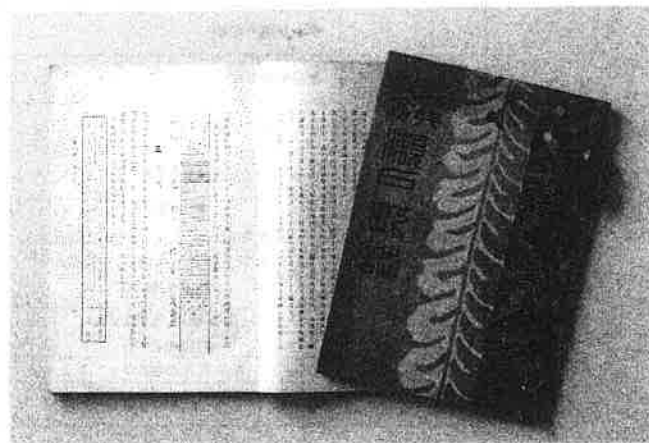
『瀬戸町誌』発刊110年

中央通りギャラリー

大正時代の瀬戸と印刷技術

大正天皇の御大典を記念して編纂された『瀬戸町誌』は、瀬戸に関する公式な地誌となる最初の書籍で、大正4年(1915)に発刊されました。

本展では、『瀬戸町誌』発刊110年を記念して、大正時代までの瀬戸の様子を紹介します。また、近年寄贈いただいた資料に、本誌掲載の写真図版を印刷するための原版が見つかりました。原版と共に当時の印刷技術についても紹介していきます。



『瀬戸町誌』1915年発行
瀬戸蔵ミュージアム蔵

11月30日(日)まで



開館時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）
入館料：一般：520円、65歳以上・高校生・大学生：310円、
中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方：無料
年間パスポート：一般1570円、65歳以上・高大生940円

9月29日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190